

「部活動指導員」の配置効果は

担当教員の負担を大きく軽減している



彦坂 久伸
市民クラブ

家庭系ごみの有料化について

- 問** 2月の有料化実施時に混乱などはなかったのか。
- 答** 3月から4月にかけて新しい指定ごみ袋が一部の販売店で品不足になったものの、おおむね順調にスタートできた。
- 問** 平成32年度までに1人1日あたりのごみ排出量を430gに減少させるというごみ減量の目標をどの程度まで達成できると見込んでいるのか。
- 答** 有料化実施後、ごみの量は減少しているが、目標達成にはより一層の努力が必要と考えている。
- 問** 今後、ごみ袋の種類を増やす考えはあるのか。
- 答** 現在最小の10ℓより小さな袋、例えば5ℓの袋など、市民の意見を聞きながら検討していく。



教職員の多忙化解消について

- 問** 福江中学校への「部活動指導員」の配置効果は。
- 答** 専門的な観点からの練習メニューの作成やアドバイスなど、担当教員の負担を大きく軽減している。
- 問** 学校における働き方改革・多忙化解消は本当に進んでいるのか。
- 答** 今までの働き方を急には変えられない教職員もいる。個々に働きかけるとともに、学校全体、市全体として多忙化解消が進むように知恵を出し合っ取り組んでいきたい。
- 問** 多忙化解消には、教職員の定数増や35人学級または30人学級が不可欠ではないか。
- 答** 35人または30人学級実現への要望は、国・県に対して引き続き行っていく。さらに、教職員の多忙化解消につながる人的配置ができるように市として努力していく。

- 問** 豊川用水二期事業の追加工事予定は。
- 答** あつみ大山トンネルの出入口付近から小塩津池までの併設水路と小塩津池の耐震補強が予定されている。
- 問** 西山・伊良湖地区は台風などの大雨で頻繁に冠水するが、基盤整備の状況は。
- 答** 伊良湖3期地区として事業実施に向けて調整している。地元も早急な着手を希望しており、事業採択に向けて準備を進めている。
- 問** 将来に向けた農業生産基盤整備をどう考えるのか。
- 答** 担い手が必要としている集積・集約化された生産効率の高い農地整備が必要である。

